

# 平成30年度大分県計画に関する 事後評価

令和2年10月

大分県

### 3. 事業の実施状況

平成30年度大分県計画に規定した事業について、令和元年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は整備に関する事業	
事業名	【NO. 1】 病床機能分化・連携推進基盤整備事業	【総事業費】 736,263 千円
事業の対象となる区域	東部、中部、南部、豊肥、西部、北部	
事業の実施主体	県内医療機関 大分県	
事業の期間	平成30年4月1日～令和2年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢化に伴う医療・介護ニーズの増大に対して効率的な医療提供体制を構築するため、病床の機能分化・連携が必要。	
	アウトカム指標： 30年度基金を活用して整備を行う回復期の病床数 80床	
事業の内容（当初計画）	地域医療構想の達成に向けた施設整備を行う。 ・急性期病棟を回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟へ再編するための施設設備整備。 ・回復期リハ病棟の機能充実のための改修施設設備整備 ・回復期機能を強化するための訓練室施設設備整備	
アウトプット指標（当初の目標値）	対象医療機関数 4 医療機関	
アウトプット指標（達成値）	対象医療機関数 3 医療機関	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標： 30年度基金を活用して整備を行う回復期の病床数 62床 （当初計画は82床だったが、法人の運営方針により、転換病床数の変更及び補助の辞退（独自に整備）があったため。）	
	<p>（1）事業の有効性 回復期病床の整備を支援することで、地域医療構想の推進に寄与できた。</p> <p>（2）事業の効率性 機能分化・連携による効率的な医療提供体制を図ることができた。</p>	
その他		